



# おしえてシロモチくん

## 何が変わるの？小中学校の英語教育

小学校は平成32年度から、中学校は平成33年度から、新学習指導要領が全面実施になります。新学習指導要領の特徴の一つとなっている小学校での英語教育の早期化・教科化などについて、シロモチくんが答えます。



英語教育はどう変わるの？



小学3・4年生では聞くことや、話すこと中心の「外国語活動」が始まり、小学5・6年生では教科としての「外国語科(英語科)」が導入されるんだよ。また、中学校では、英語で授業を進めることが基本になるよ。



小学3・4年生の「外国語活動」って何を勉強するの？



「外国語活動」では、英語を使ってコミュニケーションする楽しさを知ったり、英語の発音やリズムに慣れ親しんだりして、日本語との違いや言葉の面白さに気付くことが目的なんだ。

(例)・表情やジェスチャーの大切さや、表す意味の違いに気付き、感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。



津市では、来年度から先行して実施されるというのは本当なの？



津市では、平成30・31年度を移行期間として、平成32年度の全面実施に向けて段階的に取り組んでいくんだ。来年度は、小学3・4年生で年間15単位時間(平成31年度からは35単位時間)の「外国語活動」、小学5・6年生では、年間50単位時間(平成31年度からは70単位時間)、教科としての英語を踏まえた授業を全ての小学校で実施する予定なんだ。



小学5・6年生の「外国語科(英語科)」では何を勉強するの？



小学5・6年生から徐々に読むこと、書くことを教科として学習するんだ。外国語でコミュニケーションすることは、一部の仕事に限ったことではなく、将来さまざまな場面で必要になるよ。

(例)・好きな物や欲しい物について尋ねたり答えたりする表現がわかる。  
・好きなことやできることについて基本的な表現を読んだり、簡単な語句を書き写したりする。



中学校の「英語科」は、どんな勉強をするの？



中学校では、新学習指導要領が平成33年度から全面実施され、授業は英語を使って行うよ。聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、表現したり伝え合ったりするコミュニケーション力などを養うんだ。授業時間数は、今と同じ、年間140単位時間だよ。

問い合わせ 教委教育研究支援課 ☎229-3243 FAX229-3017